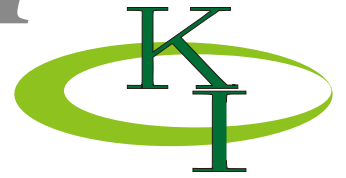


KI News & Topics

Irregular Newsletter vol,6



大木記念女性のための菊池がんクリニック・ストレスケアセンター
〒359-1133 埼玉県所沢市荒幡111-1 Tel/04-2928-7311 Fax/04-2928-7306

タリ フジ 2009年(平成21年)8月14日 (13日発行)

こう見えてうちの院長 たいした人なんです!

8月14日発行の『タリフジ』に、当クリニックの菊池義公院長が紹介されました。もうすでに読まれた方もいらっしゃるでしょうか。

海外で実績のある治療法や薬剤に関する論文もいち早く手に入れて読み(もちろん原語で)、それを患者さんの病状や体質に合わせて

治療に応用しているのです。そこまでできる医師は日本にはそう多くはいません。薬のことは薬剤師まかせなんていうお医者さんも多いですからね。また菊池院長は、日本ばかりでなく世界的にも名を知られた婦人科がん専門医なのです。

名医はこの人 ブラックジャックを探せ

ひと口に「がん治療」といっても、そのアプローチはさまざま。

今回登場する菊池義公医師は、卵巣がんを中心とする女性のがん治療の分野で知られる存在。特に現在院長を務めるクリニックは、検診からターミナルまでを総合的に診る、「女性のためのがんクリニック」として、全国から患者を集める専門診療所だ。

菊池がんクリニック(埼玉県所沢市)
菊池義公 院長 (69)



こだわりの通院型がん治療実践

「病院らしくない施設」というコンセプトの元、1000坪の広い敷地にきれいな庭園まで備えたゆとり

診療を強化することで患者のQOLも高く保つていく。そんな思いもあって、このクリニックを作ったんです。

最新最良の治療を受けられると思って安心なのです。

「日本の医師は健康保険に収載されていない薬の勉強をしない。でも、海外で実績のある薬であれば、積極的に

がんの中でも卵巣がんは、早期発見が難しい上に患者の数も他のがんに比べて少ない。この「症例数の少なさ」が、新薬の承認の前に高い壁を築いていると菊池医師はいう。

きくち・よしひろ 1939年東京都大田区生まれ。67年千葉大学医学部卒業後、同大産婦人科に入局。79・81年米・ワシントン大学、アラバ

マ大学に留学。その後防衛医科大学校講師、助教授、教授を経て、2006年より現職。趣味は読書とゴルフ。

(長田昭二)

心して何でもご相談下さい。
『名医』がもう一人!

毎月第1・3土曜日の午後の診察を担当している乳腺外科の佐藤一彦医師が、国立がんセンターの海老原敏名誉院長の著書『最新版私のがんなら、この医者に行く』(小学館刊)に紹介されました。(129ページに掲載されています。)

佐藤医師は菊池院長の教え子であり、普段は東京西徳州会病院に勤務していますが、菊池院長の理念に賛同し、当クリニックの非常勤医師として診察にあたっています。

お知らせ

毎月第2火曜日にカンファレンスルームにおいて「フリートークの会」を開催しています。参加はどなたでも自由です。

院長が病状や治療に関する質問もお受けします。ので、ぜひご参加下さい。